



翔雲

国公立大学合格五十二名(現役五十二名)

九州大学一名、広島大学一名、熊本大学一名、佐賀大学十三名、長崎大学五名の合格

立命館大学に現役合格三名。福岡大学にも二年連続三十名以上(のべ)合格

令和六年度卒業生は、国公立大学に五十二名、私立大学に延べ百九十二名が合格しました。

「大学入学共通テスト」の平均点が昨年度に続きアップした影響で、全国的に「強気の出願」となり高倍率となった国公立大学も増えましたが、その中で出願校を丁寧に検討し、真摯な姿勢で個別試験対策に取り組んだ生徒が合格を掴みとりました。高い志とチャレンジ精神を持ち、国公立大学合格者のほとんどが前期日程入試で合格するという、勢いのある結果が今年度の卒業生の特徴でした。

国公立大学については、学校推薦型選抜では佐賀大に一名、総合型選抜では長崎大二名、佐賀大二名、叡啓大一名、長崎県立大一名が合格しました。その要因として、早期からの志望校合格を見据えた準備、学業・人物はもちろんのこと学校推薦に値するアピール性をもった活動実績、それに近年よく課せられるようになった学力試験をクリアできる学力、などが挙げられます。一般入試では、九州大一名、広島大一名、熊本大一名、長崎大学四名、佐賀大学に十名と健闘しました。卒業生の数に対する国公立合格者の割合は三十五%以上と過去六年間で一番高い数字となりました

私立大学については、各生徒が自分に合った受験の仕方を考え、福岡大学に延べ三十名が合格したほか、関西地区の有名私大である立命館大学に現役で三名が合格しました。専門学校は医療系の人気が堅調で、県内や隣県の福岡、長崎の学校に多数進学しました。

「少子化の時代の進学」とはいうものの、研究環境が優れた大学や、就職に強い学問系統に受験生の人気が集まること、大学入学共通テストで高得点をとるのが難しいことなどから、早期からの受験準備が必要であるという事実は、ここ数年の入試結果を見ても明らかです。先輩方の残した実績を見て、皆さんの日々の過ごし方がどうあるべきかを見直す契機としたいものです。

国立大学	現	既	計
奈良教育大学	1		1
広島大学	1		1
九州大学	1		1
九州工業大学	2		2
福岡教育大学	2		2
佐賀大学	13		13
長崎大学	6		6
熊本大学	1		1
大分大学	3		3
宮崎大学	2		2
鹿児島大学	1		1
合計	33		33

国公立大学	現	既	計
叡啓大学	1		1
下関市立大学	1		1
北九州市立大学	4		4
福岡県立大学	1		1
長崎県立大学	11		11
宮崎公立大学	1		1
合計	19		19

国公立大学	現	52
	既	
	計	52

私立大学	現	既	計
関東学院大学	1		1
立命館大学	3		3
関西大学	9		9
近畿大学	5	2	7
広島修道大学	4		4
九州産業大学	23		23
久留米大学	13		13
西南学院大学	4		4
中村学園大学	11		11
福岡大学	30		30
福岡工業大学	27		27
西九州大学	8		8
長崎国際大学	4		4
その他	47		47
合計	189	2	191

短期大学	計
大分県立芸術文化短大	1
大分県立工科短大	1
中村学園大学短期	1
西日本短期大学	1
西九州大学短期	1
佐賀女子短大	1
長崎短大	1
合計	7

専門学校	計
麻生公務員専門学校	2
佐賀医療センター 好生館看護学院	6
嬉野医療センター附属 看護学校	3
武雄看護リハビリ テーション学校	3
その他	22
合計	36

就職	1
----	---

